

1, 概要

- ・こども園では、保育士が保育を振り返り今後の園運営に生かすことを目的に下記の4項目を柱に自己評価を実施しました。

- 1) 保育の充実と改善に向けて
- 2) 職員の資質・専門性の向上
- 3) 職員間の相互理解・協働
- 4) 保護者・外部団体・地域との連携

2, 結果と分析

- 保育家庭に基づき月案・週案を作成し、保育を実践することができました。コードモンの導入により、保育以外の業務を簡素化し保育内容を具体的に検討することで保育の質の向上に生かすことが出来たと考えます。
- 子どもの姿を肯定的に捉え、子ども理解に努めて全体会議で共有しました。一人ひとり丁寧に対応することで、信頼関係を築くことが出来たと考えています。環境統制と、援助方法を職員間で共有することで、子どもの個性を大切にできる、インクルーシブ保育について考える機会を持つことができました。
一方で、個人それぞれの「やってみたい」や「知りたい」に、細かく対応し実現できるように環境を整えることは難しかったと感じています。
- 園周辺の自然環境を積極的に取り入れた保育実践を行っています。季節ならではの遊びや、行事を通し様々な人と交流することで経験値が高まったと考えています。特に、食育に関しては生きる力の礎となるような取り組みを行うことが出来たと考えます。
- 町内で活動している団体と交流するなど、地域全体で子どもを見守り、地元に親しみを感じられるような雰囲気づくりを行っていますが、コロナ禍で減少していたため、まだ以前の状況には戻っていないと思われます。

3, 今後の対応

- 今回の結果を踏まえ、保護者や地域の皆様の声を真摯に受け止め、安心・安全な保育を実践し開かれた園運営を実践してまいります。また、事故防止マニュアルを再確認し、施設内外の安全点検を実施するとともに、子ども達が主体的に活動できる環境を整えていきます。今後も地域資源とともに、子どもファーストの姿勢で保育の充実を進めてまいります。